

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

# KFA NEWS

Kumamoto Football Association News ▶ <https://kumamoto-fa.net/>

2024.4

SPRING

# No.25

熊本県サッカー協会広報紙

2024年4月30日発行 通算第109号

発行者/一般社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会

特集

## 熊本県なでしこサッカーフェスタ2024開催

# 女子サッカーを目指す子どもたちに夢と希望を!



1月8日、東海大学付属熊本星翔高校を会場に、熊本県サッカー協会(KFA)主催の「新春!熊本県なでしこサッカーフェスタ2024」を開催しました。2022年に始まったこのイベントは、全国で活躍する熊本県出身の女子サッカー選手との交流を通じて、県内で女子サッカーを目指す子どもたちに夢と希望を届けようと思いついたもので、今回で2回目。当日は、キッズから大人まで幅広い世代の約100人が参加し、フォーラムと初蹴りを行いました。

フォーラムの最後には、会場に集まった子どもたちからの質疑応答の時間も設けられ、「体づくりのために、どんなものを食べているか?」「辛い時にはどうやって克服しているか?」など、サッカーに取り組む子どもたちならではの質問が寄せられ、3人もそれぞれの経験を踏まえて真剣に回答していました。

フォーラム終了後はグラウンドへ移動し、坂田選手、松野選手や東海大学付属熊本星翔高校女子サッカー部の皆さんと一緒に、初蹴りを行いました。年齢に応じていくつかのグループに分かれ、基本練習から試合形式まで、約1時間におたつてトップ選手とのプレーを楽しみました。

イベントを通じて、さまざまな経験をした子どもたちが、これからの熊本、そして日本の女子サッカー界でどんな花を咲かせてくれるか期待しましょう!

初めに、KFA女子委員長の岩崎珠美が挨拶。さらに、岩崎委員長が女子サッカー界発展の歴史や現状を紹介した後、3人のパネリストを招いてのフォーラムへと移りました。

フォーラムに登壇したのは、いずれも熊本県出身で、現在なでしこリーグ1部のヴィアマテラス宮崎に所属する坂田美優選手、元ヴィアマテラス宮崎の松野梨那選手、そしてサッカー審判2級資格を持つ千蔵るりさんの3人。

KFA広報委員長でフリーアナウンサーの風戸南陽子さんがファシリテーターを務め、登壇者それぞれがサッカーを始めたきっかけや、これまでのキャリア、競技にかける思いなどを聞いていきました。

先輩たちの経験に耳を傾け、共にプレーし、明日のなでしこを目指す!

### 用具の貸出を行っています!

熊本県サッカー協会では、所属チームやクラブ、都市町協会などへ、サッカーゴール(少年用)、フットサルゴール、などの用具貸出を行っています。ご希望の方は、県協会事務局(☎096-247-6980)までお問い合わせください。

※一部使用料・協力金をいただきます。  
※貸出用具の一部はtoto助成事業にて購入しています。

アレが足りない…

コレがない…

貸出用具の詳細などは  
熊本県サッカー協会ホームページで  
ご確認ください

## KFA NEWS

熊本県サッカー協会広報紙

# 広告協賛募集中

熊本県サッカー協会では、熊本のサッカー情報や活動状況をより多くの皆様にお伝えするために、本協会に所属していただいている会員(チーム)向けに機関紙「KFA NEWS」を発行して参りました。

2015年度から、さらなる紙面の充実と親しまれる広報誌にするために「KFA NEWS」のリニューアルを行い、広告協賛を募集しております。

仕 様：タブロイド版・8ページ 横273mm×縦406mm  
内 容：発行部数：5,000部/1回  
配布対象：会員(約600チーム)、公共施設、スポーツ施設、各種イベント

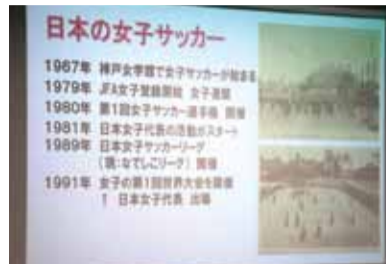
詳細は熊本県サッカー協会ホームページよりご確認ください。



特集 熊本県なでしこサッカーフェスタ2024開催

# 先輩“なでしこ”たちの言葉に触れ、共にプレーすることが刺激に！

これからの熊本県的女子サッカー界を担う“原石”である子どもたちは、先輩の経験やアドバイスを熱心に聞き入っていました。さらに、なでしこリーグで活躍する選手と一緒にプレー出来る貴重な機会となった初蹴りにも、元気いっぱいに取り組みました！



## フォーラム登壇者プロフィール

### 坂田 美優選手

生年月日/2002年10月24日  
出身地/熊本県  
所属/ヴィアマテラス宮崎  
ポジション/FW  
経歴/益城ルネサンス熊本FC⇒鎮西学院高等学校・国見FCレディース(長崎県)⇒武蔵丘短期大学CIENCIA



#### 〈選手として大切にしていること〉

熊本地震を経験し、「今サッカーが出来ていることは当たり前ではない」と痛感しました。その経験を踏まえ、常に自分に関わる人、支えてくれる人への感謝の気持ちを持ちながらプレーするよう心掛けています。

また、練習や試合で100%の力を発揮出来るよう、体のケアをしっかりと行うと共に、現状に満足せず常に課題と向き合いながらサッカーに取り組むようにしています。

#### 〈サッカーの良いところ〉

チームスポーツとして、皆で一致団結して勝利を目指すところ。

#### 〈熊本的女子サッカーの未来に期待すること〉

熊本にも「なでしこリーグ」のチームを作って、地域の中から女子サッカーを盛り上げてほしい！

### 松野 梨那選手

生年月日/1997年12月26日  
出身地/熊本県  
所属/元ヴィアマテラス宮崎  
ポジション/MF  
経歴/熊本ルネサンスフットボールクラブ⇒熊本ユナイテッドSC⇒東海大学付属熊本星翔高校



#### 〈選手として大切にしていること〉

サッカー選手である前に、「人としてどうあるべきか」を常に考えるようにしています。また、サッカーに対しては、練習の意図を一つ一つ理解した上で、向上心や目標を持って取り組むことを大切にしています。

#### 〈サッカーの良いところ〉

チームメイトはもちろん、対戦相手のチーム、性別や国籍などに関係なく、たくさんの人と繋がりが合えるところ。

#### 〈熊本的女子サッカーの未来に期待すること〉

自分が熊本を離れてプレーしてみて、「やっぱり熊本が好き！」と強く感じました。いつかは熊本に戻って、サッカーの楽しさを子どもたちに発信出来るようにしたいです。

### 千蔵 るりさん

出身地/熊本県  
経歴/玉名ジュニアFC⇒おてんばガールズ⇒北部総合スポーツクラブCREST⇒益城ルネサンス熊本FC  
サッカー審判歴/2015年・4級合格(中学1年)、2020年・3級合格(高校2年)、2022年・2級合格(大学2年)



#### 〈審判として大切にしていること〉

審判は、プレーする選手たちが最高のパフォーマンスを発揮出来るようにサポートするのが役割だと思います。そのためにも、一つ一つのプレーに集中して、正しく判断出来るように心掛けています。

#### 〈サッカーの良いところ〉

勝ち負けに関わらず、チームの皆で喜びや感動を分かち合えるところ。

#### 〈熊本的女子サッカーの未来に期待すること〉

どのカテゴリーでもいいので、全国に通用するチームが熊本から出てきてくれたら、ぜひ私もそのチームの試合でレフェリーをしてみたいと思います。

# ケガ予防

## 効果的なストレッチ ～サッカーに多いケガを防ぐためのストレッチを紹介！～

サッカーに限らず、スポーツをしている人なら誰もが運動の前後に行っているストレッチ。しかし、その目的や効果を理解せず、「ただなんとなく」やっていますか？ ストレッチを行う意味や得られる効果をしっかり理解して行うことで、ケガの予防にもつながります。紹介するストレッチを、ぜひ日頃のウォーミングアップやクールダウンに活用してみてください。

### ■ そもそも「ストレッチ」って何？

「ストレッチ(Stretch)」とは、英語で「伸ばす」「引っ張る」という意味です。運動後の身体のケアのために行うストレッチングを「静的ストレッチング」といい、「筋肉の緊張をやわらげる」「精神的にリラックスさせる」「血液の循環を促進させる」「持続することで、より柔軟性を高める」などの効果が期待出来ます。

一方、運動前のウォーミングアップとして行うストレッチングを「動的ストレッチング」といい、「体温の上昇」「筋・関節の可動範囲を高める」などを目的に行います。

### ■ いつやるのが効果的なのか？

身体のケアを目的に行う場合は、練習や試合の後、身体が冷えてしまう前に行うのが理想的です。(練習や試合後に)十分に出来なかった時は、その日の風呂入りや寝る前など、リラックスした状態でいつでも効果的です。例え短時間でも、毎日行う習慣を付けるように心掛けましょう。

### ■ 「強さ」や「時間」はどのくらいが適当？

呼吸は止めずに、息を大きく吸ったり吐いたりしながら行いましょう。「静的ストレッチ」の場合、一つのポーズを20～30秒キープして、それを2～3セット繰り返し行います。「動的ストレッチ」の場合、一つのポーズを2～3秒までとし、それを4～5セット繰り返し行います。

目的によってストレッチを行う時間は変わってくるので、使い分けするようにしてください。

### ■ 自分の身体をよく知り、意識する。

柔軟性には個人差があり、また、同じ人でも昨日と今日、練習の前後、右と左でも異なります。自分の状態がどうなっているかを意識しながら、一つ一つの動き(ストレッチ)を丁寧に行うことで身体への関心が高まり、ケガの予防に役立ちます。

実際にやってみよう！

### ストレッチメニュー (例)

- 太もも(大腿四頭筋)
- 太もも裏(ハムストリングス)
- ふくらはぎ(下腿三頭筋)
- 内もも(内転筋)
- お尻(大殿筋)





# 熊本県フットボールセンター COSMOS 1周年記念祭



元日本代表選手や人気キャラクターに子どもたちも大喜び



芝生広場に設置された移動型遊具は、どれも子どもたちに大人気!



はたらくのりもの体験では、実際に動く車も!



組み立て式サッカーボール体験も人気!



## さまざまなイベントで1日大賑わい! 地域の交流拠点としての役割を果たす

昨年11月12日、熊本県フットボールセンターCOSMOSのオープン1周年を記念した「ふれあいファミリーDAY」が東亜道路工業(株)の特別協賛で開催されました。同センターの芝生広場をメイン会場に、サッカー元日本代表の北澤豪さんによるジュニアサッカースクールや、ポケモンのキャラクター、エースバインとサッカーボール(MY FOOTBALL ZONE)体験など、フットボールセンターならではの催しに加え、トラックやショベルカーなどの、はたらくのりもの乗車体験、ポーネルンドの移動型あそび場、鬼ごっこパルクールを組み合わせた「バルオニ」など、さまざまなイベントが行われました。

どのイベントも、子どもたちで大賑わい! サッカーファミリーもそうでない人たちも、誰もがスポーツや体を動かすことを通じて交流できる地域の拠点となることを目指す「COSMOS」の1周年を祝うのにふさわしいイベントとなりました。また、広場内には多数のキッチンカーが並び、お昼時にはそれぞれに長い行列が出来るなど、好評を博しました。

## COSMOS が「くまもとアートポリス推進賞」を受賞!

### Interview



熊本県フットボールセンターCOSMOSを設計した熊本大学大学院の田中智之教授に、受賞の喜びとCOSMOSに込めた思いなどを聞きました。

田中 智之

### Profile

1971年埼玉県生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。同大学院修了。博士(建築学)。2006年TASS建築研究所を共同設立。現在、熊本大学大学院教授。建築だけでなくまちづくりにも参画(熊本駅周辺地域、熊本市桜町・花畑周辺地区、益城町の復興)、また「タナバー」と呼ばれる独自のドローイング作品も多数(2016年「土木展」出展、2018年熊本市現代美術館にて個展)。受賞に日本建築学会作品選奨、グッドデザイン金賞など。著書に「建築の森・熊本を歩く」「階段空間の解体新書」「超建築パース 遠近法を自在に操る26の手描き術」など。

#### — 受賞の感想は。

「くまもとアートポリス推進賞」は、27回を数える伝統ある建築賞であり、受賞をうれしく思っています。特にこの賞は、設計者だけが受賞するのではなく、事業主、施工者、設計者がチームとして表彰されるのが特徴です。長い期間を掛け、皆さんで協力しながらやってきたことが評価され本当に良かったです。

#### — 設計に当たったのテーマは?

「街のようなフットボールセンター」です。一般的なスポーツ施設では、フィールドと建物がそれぞれに計画されることが多いのですが、COSMOSではそれらが連携し、一体化するような場所を目指しました。カフェやランドリー、保育園などとフィールド、広場が融合した一つの街のイメージです。

#### — 設計に当たって苦労した点は?

施設や設備が目立つのではなく、人々の活動や風景そして環境が主役となるよう、建物は極力シンプルなものになるように努めました。屋根にはCLT(直交集成板)という新しい木造技術を用いるなど、さまざまな工夫を凝らすことでスッキリとした大らかなデザインとしています。このシンプルさの実現が、実はなかなか大変なことなのです。

#### — 今後のCOSMOSに期待すること。

COSMOSは、まだ計画の途中段階にあり、将来的にはクラブハウスや屋根の拡張などを想定しています。幅広い方々に利用していただき、活力ある街のように段々と育ってもらえればと思います。また、僕らが考えもしなかったような新しい使い方、活用法を編み出して欲しいですね。

熊本県が、概ね5年以内に竣工した県内の建築物や公園等の中から機能面はもとより、デザイン面にも優れた、後世に残る文化的資産となる建造物を表彰する「くまもとアートポリス推進賞」。

2022年10月にグラランドオープンした熊本県フットボールセンターCOSMOSは、「第27回(令和5年度)くまもとアートポリス推進賞」に応募し、見事に推進賞6作品の一つに選ばれました。選考委員からは、「一般的な屋外スポーツ施設において、圧倒的な気積、広がりを持つフィールドに対して、多くの建築はただ横に突っ立っている脇役のようになってしまっている。その問題を配置計画から一石を投じた建築」と高く評価されました。

1月26日には、同賞の表彰式が県庁本館地下大会議室で行われ、(株)熊本フットボールセンター代表取締役・松下涼太のほか、(株)TASS建築研究所・田中美都様、(株)シアーズホーム専務・松岡章雄様が参加。代表して松下社長が、「施設のテーマは『スポーツを通じたまちづくり』。サッカーだけでなく、スポーツ文化の発信拠点として、利用する子どもたちに夢を与えていきたい」と謝辞を述べました。



受賞の喜びを語る松下代表取締役





### 2023年度表彰式並びに祝賀会

## 県関係選手・チームの活躍ぶりを表彰 新たな1年に向けて 各カテゴリーが飛躍を誓う

1月20日に、熊本県サッカー協会の「2023年度表彰式並びに祝賀会」を、メルパルク熊本で開催しました。この日は、開会に先立ち元旦に北陸地方を襲った「令和6年能登半島地震」の犠牲者に黙とうを捧げ、その後、主催者を代表して熊本県サッカー協会の河田信之会長が「熊本を全国有数のサッカー王国」という目標に向かって、県のサッカーファミリー一丸となって頑張っていきたい」と挨拶。続いて、日本代表選手、文部科学大臣表彰、全国大会上位入賞の表彰へと移りました。



開会にあたって挨拶する県サッカー協会の河田会長

表彰後には、各賞の受賞者が謝辞や今後の抱負などを述べました。さらに、今年度はパラフットボールのカテゴリーで2人の日本代表選手が表彰されたことを受け、彼らの代表としてのプレーをまとめた動画上映のほか、パラ

フットボールのさまざまなカテゴリーや、それぞれのルール、現状などについてチャレンジド委員会の高木委員長が説明しました。歓迎も交えながら、新年らしい華やいだ雰囲気の中で行われた祝賀会。最後は、県サッカー協会の北岡長生副会長の万歳三唱ならぬ、「ゴール！ゴール！ゴール！」を唱和して閉会となりました。また、会場入り口の受付には、能登半島地震被災地支援のための募金箱も設置され、会場を後にする参加者が次々と浄財を投函して帰路についていきました。

受賞者には、河田会長から賞状と花束が渡された



受付には能登半島地震への義援金を募る募金箱も設置



受賞者や協会関係者など約80人が出席



#### 〈各種表彰受賞者〉

##### 日本代表選手表彰

坂本 一彩様/U-20日本代表  
中嶋 淑乃様/なでしこJAPAN日本代表  
湯野 琉世様/デフサッカー日本代表  
赤崎 蛭様/ロービジョンフットサル日本代表

##### 文部科学大臣表彰

河田 信之様/生涯スポーツ功労者

##### 全国大会上位入賞

熊本県立大津高校サッカー部/  
第101回全国高校サッカー選手権大会・第3位  
ソレツ熊本/  
第38回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会・準優勝  
ロアッソ熊本/  
天皇杯JFA第103回全日本サッカー選手権大会・第3位



壇上で花束を手に記念撮影に応じる受賞者の皆さん

## 熊本サッカー今昔物語

～第七回～

### 80年近い協会活動を支えてきた さまざまなボランティアの活躍

熊本県サッカー協会副会長 今田 周作

熊本県サッカー協会(以下、KFA)は、1947年に前身である「熊本蹴球協会」が発足して以来、今年で77年目を迎えました。まずは、協会発足に向けた先達の思いと協会の発展に尽くされた多くの先輩方に対して深く感謝と敬意を申し上げます。

この長い歴史の中で多くの方々の力により、県サッカー界は支えられてきました。特に、現在も育成、強化、各委員会等々、日々の協会活動の多くがボランティアの活躍によって成り立っています。そこで今回は、協会に関わる多くのボランティア活動の中から、私が経験した事例をいくつかご紹介いたします。

#### Jリーグ運営が 残したもの

1993年に開幕したJリーグは空前の大フィーバーとなり、熊本市は横浜フリューゲルス、熊本は横濱フリューゲルスの準ホームタウンとなりました。プロチームが誕生する以前のことであり、大会運営はKFAの主幹となりましたが、当然のことながらプロリーグの運営の経験などなく、ボランティアもさまざまな未知のシステムへの挑戦でした。試合前には水前寺競技場の芝刈り・散水も協会が実施するなど、準備は多忙を

#### 県民ボランティアが W杯キャンプを支える

2002年に開催された日韓ワールドカップの会場招致は残念ながら実現しませんでした。2巡目となる熊本国体を機に完成したKKウィング(現えがお健康スタジアム)は、ベルギー代表チームのベースキャンプ地となりました。熊本県は、国内外から訪れる報道関係者や旅行者等のおもてなしのためにボランティアを公募。多くの応募者の中から170名程度が通訳や

会場美化等に意欲的な活動を展開した結果、キャンプを成功に導きました。この時は、現在KFA副会長を務める北岡長生氏が県に出向し、開幕直前のトレーニングマッチや事後の国際交流に手腕を発揮しました。

#### サッカーファミリー による基本構想策定

KFAは、熊本サッカーの将来のビジョンと長期にわたる活動の方向性や重点事項を明確にし、その実現に取り組むため、2002年4月に「熊本県サッカー協会基本構想」を策定して公表しました。2000年3月からスタートした策定作業には、各種別委員会や郡市協会などの協会関係者に、一般、大学生などの外部ボランティアも交えた20数名が参加。2年の歳月を掛けて取りまとめるという一大プロジェクトでした。ちなみに、3年後の2005年1月、JFAは「2005年宣言」夢があるから強くなる」を発表。JFAの理念や約束、将来ビジョンを内外に示しました。その後、KFAの基本構想は活動の成果とサッカー界を取り巻く環境の変化に伴って2度の改定を行い、現在は第三次基本構想として協会活動の大きな指針となっています。

#### 熊本サッカーの 未来への布石づくり

2004年5月に社団法人熊本県サッカー協会がスター

創立から70年以上の歴史を持つ「熊本県サッカー協会」。その歴史を振り返るコラム「熊本サッカー今昔物語」。今回は、現在、熊本県サッカー協会の副会長を務める今田周作さんに、自身も携わった日本サッカーの競技力向上や指導者育成のための取り組みについて語ってもらいました。

トしました。当時の会長・荒木時彌氏は、基本構想の達成によって社会的信用の向上とサッカーの振興を目指すには法人化が不可欠との観点から、会長自ら先頭に立って事務局や各部会(現種別委員会)と専門委員会、郡市協会から選出した委員で構成する「法人設立プロジェクト委員会」を2003年に設立。先進県の事例研究を行い、基本財産、会員、会費、理事、会議体等の重要事項について17回におよぶ会議で検討を重ね、社団法人への移行を決定しました。当時、全国の都道府県サッカー協会のうち約10協会が法人化していましたが、KFAは県内のスポーツ競技団体では初の法人化でした。

以上、これまでに私が関わった多くのボランティア活動の中から4事例を紹介しましたが、それぞれの活動を通して熊本サッカー界を支える人材が育ってきたことは言うまでもありません。現在も事務局や各種別・専門委員会、そしてロアッソ熊本を含めた日々の競技会、行事・イベントは多くの熱意あるボランティアの皆さんに支えられながら発展し、充実した活動が行われています。

私たちは、そのような活動の中から基本構想の達成に向けてさらなる人材の発掘と育成に努める必要があると思います。





県サッカー協会理事で広報委員長を務めるフリーアナウンサーの風戸南陽子さんが、県内外のサッカーファミリーと対談するこのコーナー。今回は、J2ロアッソ熊本を指揮する大木武監督に話を聞きました。

# 「勝つ」ことはもちろん、サポーターに「もう一度見たい！」と思わせる試合をすることが大事

風戸 J2リーグ戦開幕まで1週間(取材日:2月20日)というタイミングで、時間を割いていただきありがとうございます。大木監督は、1991年の東京農業大学のコーチ就任を皮切りに、指導者としてのキャリアをスタートされました。

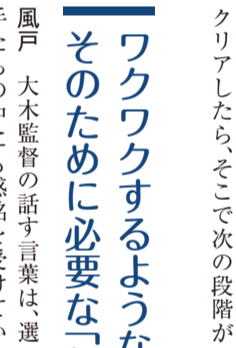
## 自分が信頼すれば相手も信頼してくれる 大切なのは「本音」でぶつかること

大木 私の中では言葉通りの意味です。例えば、接触プレーがあっても「痛くもないのに倒れたりするな」など、選手一人ひとりがプレーに関わり、グラウンドの中でチームの一員として機能して欲しいということですね。

風戸 監督のその指導はデータにも表れています。ロアッソのテクニカルプレイングタイム(※)は、J2でも最も長いです。それだけ選手が「プレー」出来ているということですね。



大木 最初の10年は五里霧中で右も左も分からず、あれこれ迷いながらやっていました。その中で少しずつ「これだ！」というものが見えてきました。それが、「サッカーをプレーすること。抽象的かもしれませんが、特にゲームに入ってから「それ以外のことはするな」と選手たちには伝えたいです。」



風戸 その時々判断というのか、大木 大事していると感じます。もちろん、先の目標はあっていいのですが、まずは目の前をやるべきこと、次に進めません。それをクリアしたら、そこで次の段階が

## ワクワクするような試合を見せたい そのために必要な「気持ちの強さ」

風戸 大木監督の話し言葉は、選手たちの中にも感銘を受けている人が多いですよ。発する言葉のチョイスはどのように？  
大木 誰かと話している時に聞いたことや、どこかで見聞きしたこと、それらを自分なりに解釈して言葉にしています。例えば、映画「スター・ウォーズ」でフォース(理力)という言葉が出てきます。ただの「力(パワー)」ではなく、「理に叶った力(力以上のもの)」という存在を、上手く言い表している。それはサッカーでも言えることなので、選手たちに話をする時にもよく使っています。

ロアッソ熊本  
おき たけし  
**大木 武**監督

1961年、静岡県生まれ。1991年に東京農大サッカー部コーチに就任したのを皮切りに、数々のプロサッカーチームでコーチ、監督を歴任。2008~2010年には、岡田武史監督率いる日本代表でコーチを務める。2020年からロアッソ熊本の監督に就任。2021年にJ3優勝とJ2復帰を果たす。2023年には天皇杯でチームを初のベスト4に導く。

### 2024明治安田J2リーグ ロアッソ熊本ホームゲーム日程 [5~10月]

日程	対戦相手
第13節 5月 3日(金・祝) 14:00	鹿児島ユナイテッドFC
第15節 5月12日(日) 13:00	横浜FC
第17節 5月26日(日) 14:00	モンテディオ山形
第20節 6月16日(日) 18:00	ファジアーノ岡山
第22節 6月29日(土) 18:00	愛媛FC
第25節 8月 3日(土) 19:00	栃木SC
第27節 8月17日(土) 19:00	水戸ホーリーホック
第29節 9月 1日(日) 19:00	藤枝MYFC
第32節 9月21日(土) 時間未定	ブラウブリッツ秋田
第34節 10月 6日(日) 時間未定	徳島ヴォルティス
第35節 10月20日(日) 時間未定	レノファ山口FC

※会場はいずれも「えがお健康スタジアム」  
チケット情報など詳しくは、「ロアッソ熊本」のHPでチェックを!➡



風戸 監督は、日本以外のプロサッカーリーグの試合もかなりご覧になっているそうですが、どんな試合やチームに魅力を感じますか？  
大木 私自身、自分が指揮するチームでは、とにかく見てワクワクする、サポーターの視線に触れるような試合をお見せしたいと思っています。それもあって、やはり見ているパッション、情熱みたいなものを感じるチームが好きですね。





県協会所属チーム紹介

# Pick-up! Football Family Vol.19

このコーナーでは、熊本県サッカー協会に所属しているチームの中から、毎号紹介します。今後紹介してほしいチームも募集しています(自薦・他薦を問いません)。

## 熊本大学医学部 サッカー部

1種学生

- 設立/1957年
- 代表/川田 理久
- 選手数/21名

(チーム沿革)

- 1957** (昭和32)年 創部
- 2022** (令和4)年 熊本県大学リーグ1位  
九州各県トーナメント優勝  
(入れ替え戦出場)
- 2023** (令和5)年 九州・山口医学生体育大会3位  
西日本医学生体育大会出場  
熊本県大学リーグ2位  
九州各県トーナメント出場

## 学業との両立だけでなく、 人間的な成長も掲げて活動

創部して67年目を迎える熊本大学医学部サッカー部。部員たちのほとんどが、将来はスポーツドクターをはじめとした医療関係に進むことを目指していることもあり、「サッカーに全力で向き合うことで、目標を達成するプロセスを学び、思いやりを持った人間に成長しよう」というチームコンセプトのもと、約20人の学生が学業と両立しながらサッカーに取り組んでいます。

トレーニングは週3回が基本で

すが、実習やテストなどで人数が揃わないこともしばしば。それでも、一つ一つの練習メニューの意図や目的を明確に説明して共有することで、練習効率を高めることを意識。個々の責任感向上に繋がりと、チーム全体のモチベーションアップにもなっています。

入学してから本格的にサッカーを始める部員もいるため、技術的な面では他チームに劣る部分があるものの、記憶力の良さを活かし、アルファベットや数字を使ったサ



インを駆使したバリエーション豊富なセットプレーのほか、相手のフォーメーションや戦い方を踏まえた緻密なチーム戦術を駆使して実践出来るのは医学部ならではの。また、栄養士など外部の専門家の力を借りた体づくりやケアもチーム強化に取り入れており、西日本医学生大会、九州・山口医学生大会での上位進出と九州大学リーグ2部昇格を目指します。



**川田 理久さん**  
経験がなくても、サッカーに対する熱意を持った人を歓迎します。

トレーニングは熊本県フットボールセンターCOSMOSなどで実施。1対1の個人戦術からチーム戦術まで、学生同士でメニューを考案し、その意図を説明して実践しています



## ソレツソ熊本

3種、4種

- 設立/2004年
- 代表/広川 靖二
- 選手数/約300名

(チーム沿革)

- 2004** (平成16)年 設立
- 2010** (平成22)年 第34回全日本少年サッカー選手権大会ベスト8
- 2011** (平成23)年 第35回全日本少年サッカー選手権大会ベスト8
- 2013** (平成25)年 第37回全日本少年サッカー選手権大会ベスト4
- 2018** (平成30)年 JFA 第42回全日本U-12サッカー選手権大会ベスト4
- 2023** (令和5)年 第38回全日本クラブユースサッカー選手権大会(U-15)準優勝  
JFA 第47回全日本U-12サッカー選手権大会優勝

## 創設20年で悲願の全国制覇 プロ選手も輩出する国内屈指のクラブ

昨年末、鹿児島県で行われた「JFA 第47回全日本U12サッカー選手権大会」に出場したソレツソ熊本。2013年、2018年のベスト4の壁を突破して挑んだ決勝戦では、愛知県代表のFCアロンザを1-0で破り、悲願の全国優勝を果たしました。クラブ設立から20年、全国大会初出場から13年目での快挙です。

クラブの特徴は、育成年代で身に付けておくべきサッカーの原理原則を踏まえつつ、個人の特徴を伸ばすことを重視した指導。その方針のもと、選手1人1人が高い目標に向けて競い合うクラブカル

チャーが根付いています。そうした環境があるからこそ、ここで育った選手たちは、県内はもとより、全国各地の強豪校やJクラブユースへと進み、自身のストロングポイントにさらに磨きを掛けます。

その結果、これまでに多数のプロ選手を輩出。近年では、満田誠(サンフレッチェ広島)をはじめ、松岡大起(アビスパ福岡)、坂本一彩(ガンバ大阪)、吉永夢希(神村学園高〜KRCヘンク/ベルギー)といった選手たちが、フル代表、年代別日本代表に選出されています。

今回の全国制覇は、5年生以下の選手たちにとっても大きな刺激となりました。新年度もこれまで同様、特徴的なキャラクターを持った選手たちが中心となって、熊本のジュニア年代をリードしていきます。



U-12 監督 三角 将行さん

子どもたち1人1人が持っている能力を大事にすることが大前提です。クラブ誕生から20年が経ち、ここで競争しながら高みを目指すという空気が共有されるようになったことが、子どもたちの成長につながっていると思います。



野口 壱斗さん

目標であった「日本一」になれて、とても嬉しかったです。新人戦や学童では結果が出ませんでした。メンバーそれぞれの「勝ちたい!」という気持ちがチームを強くし、どのチームよりも大舞台を楽しんで戦ったことが優勝の要因だと思います。

練習では、チームとしての戦術を練り上げる以前に、個人個人で局面を開閉する力や状況を判断する力を磨いている



## ヴィラノーバ水俣

3種、4種

- 設立/1998年
- 代表/井上 誠
- 選手数/約60名

(チーム沿革)

- 1998** (平成10)年 創部
- 2023** (令和5)年 JFA 第29回全日本U15フットサル選手権大会熊本県大会優勝
- 2024** (令和6)年 JFA 第29回全日本U15フットサル選手権大会出場(九州第1代表)

小学生時代からこのクラブでプレーしている選手も多く、中学卒業後は県内外の高校へ進んでそれぞれが次のステージで活躍

## 県南を拠点にキッズ年代から指導 フットサルで初めて全国大会出場!

高校時代、鹿児島実業高校でプレーした代表の井上さんが地元に戻り、「サッカーをもっと普及させ、芦北・水俣地域からJリーガーを」との思いで、1998年に設立されたヴィラノーバ水俣。

2歳から中学生まで、およそ60人の選手たちが在籍して練習に励んでおり、アビスパ福岡の鶴野怜樹選手ら、これまでに3人のJリーガーを輩出しています。攻撃を重視したチーム作りを進めながら、高校進学後も一層成長出来るようにと、個

の能力を伸ばす指導を行っているのが特徴で、フットサルをトレーニングに取り入れたのもその一環です。

昨年末、JFA 第29回全日本U15フットサル選手権大会熊本県大会で優勝し、九州大会に出場。3度目の挑戦で初めて九州代表の座を勝ち取って、1月に行われた全国大会に出場しました。結果はグループリーグ2位で、惜しくも決勝トーナメント進出はなりませんが、優勝した翼SCレインボー垂井U-15(東海地域第2代表/岐阜県)と対戦するなど、クラブとしても貴重な経験を得ました。

全国大会の雰囲気も味わったことで練習に臨む意識にも変化が見られ、11人制サッカーでもより高いところを目指すモチベーションに繋がっているそう。これからも、県南地域から育成年代を盛り上げていきます。



U-15 監督 井上 誠さん

1チーム5人でプレーするフットサルは、1人が抜かれればすぐに失点に繋がるので、1人1人の責任感が増し、それが11人制のゲームでも生かされる面があります。今回の全国大会出場を機に、11人制でも県の上位に食い込みたいと思います。



秋山 朝陽さん

11人制サッカーよりもボールに触れる機会やシュートに繋がる場面が多いのがフットサルの魅力だと感じます。全国大会に出場した経験を高校でも活かして、県南地域の高校サッカーを強くしていけるように頑張りたいと思います。





## JFAファミリーサッカーフェスティバル“First Touch”

### 子どもたちに新たな挑戦の一步を踏み出してほしい!

昨年11月19日、アクアドームくまもとにおいて、「JFA Magical Field Inspired by Disneyファミリーサッカーフェスティバル“First Touch Premium” in熊本」を開催しました。JFAファミリーサッカーフェスティバル“First Touch”は、「たった一步で、世界は広がる。」をコンセプトにウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社とJFAが取り組む女子サッカー応援プロジェクト「JFA Magical Field Inspired by Disney」の一環としてJFAが全国で開催しているファミリーサッカーフェスティバルです。

ディズニーの装飾に囲まれた会場で、小学1年生から3年生まで幅広い年代の子どもたちと保護者120組240名のファミリーが参加。オリジナルユニフォームを身に纏い6グループに分かれ、ウォーミングアップ～ボールフィーリング、キック、シュート、ゲームを行いました。「サッカーは初めて」というプリンセスはもちろんのこと、たくさん子どもたちが新たな挑戦の一步を踏み出すフェスティバルとなりました。



©Disney ©Disney/Pixar ©JFA



©Disney ©Disney/Pixar ©JFA



©Disney ©Disney/Pixar ©JFA



©Disney ©Disney/Pixar ©JFA

## パラフットボールフェスティバル in KUMAMOTO

### 障がいの有無や年齢・性別を超えて 誰もが楽しめる“サッカー”の魅力を体験!

昨年11月11日に、熊本県フットボールセンターCOSMOSで、「パラフットボールフェスティバル in KUMAMOTO」が開催されました(主催/NPO法人静岡FIDサッカー連盟、共催/一般社団法人パラフットボール)。

同イベントは、参加者に障がい者のサッカーを体験し、パラフットボールの選手と交流してもらうことで、障がい者スポーツへの理解を深めてもらうと共に、障がい者スポーツの普及を図ることを目的に行われ、100人を超える参加がありました。

この日は、アイスブレイクを兼ねた参加者の自己紹介やグループ分けに続き、ブラインドサッカー(視覚に障がいのある人のサッカー)体験、アンブティサッカー(手足の切断障がいのある人のサッカー)体験、デフサッカー(聴覚に障がいのある人のサッカー)体験のほか、ウォーキングフットボール(走らない、コンタクトしないサッカー)体験も実施。

参加者は、さまざまなカテゴリーのサッカーを体験しながら、障がいの有無や年齢・性別に関わらず楽しめるサッカーの魅力を存分に味わいました。



COSMOSに集まったサッカーファミリー。「楽しむ」だけでなく、パラフットボールについての理解も深まりました



アンブティサッカーについて説明を受ける参加者たち

## Result

### 各カテゴリー大会結果報告

県サッカー協会の各カテゴリーの試合結果をお知らせします。

#### 県内大会・県予選

##### 〈1種 社会人〉

#### KFA 第58回熊本県サッカーリーグ

日程：2023年7月～2024年1月  
会場：県民総合運動公園スポーツ広場 他  
結果：優勝/シマズ自動車サッカークラブ

##### 〈1種 学生〉

#### KFA 2023年度大杉杯争奪熊本県学生リーグ大会

日程：2023年6月～12月  
会場：県内各大学・高専グラウンド  
結果：優勝/熊本大学  
準優勝/東海大学熊本  
第3位/熊本学園大学

##### 〈女子〉

#### KFA 第42回熊本県女子サッカー選手権大会 兼 皇后杯JFA 第45回全日本女子サッカー選手権大会熊本県大会

日程：2023年8/26、27  
会場：熊本県民総合運動公園スポーツ広場  
結果：優勝/東海大学付属熊本星翔高校  
準優勝/MELSA熊本FCアマール

#### KFA 第28回熊本県U-15女子サッカー選手権大会 兼 JFA 第28回全日本U-15女子サッカー選手権大会熊本県大会

日程：2023年9/16、18  
会場：大津町運動公園多目的広場 他  
結果：優勝/MELSA熊本FCソヒアア  
準優勝/Fragrant熊本

#### KFA 第33回熊本県U-12女子サッカー選手権大会 兼 ガールズゲーム(U-12)サッカーフェルティバル 第10回なでしこMIYAZAKIカップ熊本県大会

日程：2023年10/14、21  
会場：熊本県民総合運動公園スポーツ広場 他  
結果：優勝/エボルピア茶北FCY  
準優勝/REPLO FC熊本  
第3位/ピアンカスにしはら

#### KFA 第31回熊本県女子(U-12)さわやかサッカー大会

日程：2/10、11  
会場：甲佐総合運動公園サッカー場  
結果：優勝/エボルピア茶北FCY  
準優勝/ピアンカスにしはら  
第3位/嘉島セルシア

#### KFA 第42回熊本県女子サッカー総合選手権大会

日程：2/24、25、3/2  
会場：熊本県民総合運動公園スポーツ広場 他  
結果：優勝/益城ルネサンス熊本FC  
準優勝/東海大学付属熊本星翔高校  
第3位/MELSA熊本FC

##### 〈フットサル〉

#### JFA 第29回全日本U-15フットサル選手権大会熊本県大会

日程：2023年9/2、3  
会場：ウイングまつばせ  
結果：優勝/ヴィラノーバ水保  
準優勝/サイレコ・エスペランサ熊本A

#### JFA 第29回全日本フットサル選手権大会熊本県大会

日程：2023年10/1、9、15  
会場：ウイングまつばせ、大矢野総合体育館  
結果：優勝/OHANA de futsal AMAKUSA  
準優勝/FORZA B.B



▶大会結果、7ページからの続きです

九州大会

(1種 社会人)

藤井杯KYFA 第16回九州社会人0-35サッカー大会

日程：2023年11/25、26
会場：佐伯市中央病院陸上競技場、佐伯市総合運動公園人工芝グラウンド(大分)
結果：優勝/三宅ティグザ
準優勝/中津OBシニアO-35
第3位/長崎県選抜

KYFA 第47回九州各県サッカーリーグ決勝大会

日程：1/13、14
会場：大津町運動公園スポーツの森・大津
結果：優勝/海邦銀行サッカークラブ
準優勝/板付FC
第3位/アトレティコ佐賀、耶馬溪FC
※シマズ自動車サッカークラブ(一回戦敗退)

(学 生)

KYFA 第38回九州各県大学サッカーリーグ決勝大会

日程：2023年12/1~3
会場：大津町運動公園
結果：熊本大学(4位)、熊本大学医学部(初戦敗退)

(女 子)

KYFA 第41回九州女子サッカー選手権大会
兼 皇后杯JFA 第45回全日本女子サッカー選手権大会
九州地区予選

日程：2023年10/7、8、9
会場：沖縄県総合運動公園 他
結果：優勝/エナジック琉球デイゴス(第1代表)
準優勝/柳ヶ浦高校女子サッカー部(第2代表)
※東海大学付属熊本星翔高校(初戦敗退)、熊本ルネサンスFC(初戦敗退)、秀岳館高校(代表決定戦敗退)

KYFA 第28回九州U-15女子サッカー選手権大会

日程：2023年11/3、4、5
会場：SAGAサンライズパーク(佐賀) 他
結果：優勝/神村学園中等部女子サッカー部(鹿児島)
準優勝/八女学院FC(福岡)
第3位/日置シーガールズFC(鹿児島)
※MELSA熊本FCソヒア(初戦敗退)

KYFA 第27回九州U-18女子サッカー選手権大会

日程：2023年11/18、19、20
会場：新富町フットボールセンター(宮崎)
結果：優勝/大分トリニータレディース(大分)
準優勝/日置シーガールズFC(鹿児島)
第3位/casa Okinawa ale(沖縄)
※熊本ユナイテッドSCフローラ(初戦敗退)

JFA U-12ガールズゲーム2023九州第10回なでしこMIYAZAKIカップ

日程：2023年11/25、26
会場：新富町フットボールセンター(宮崎)
結果：優勝/南薩ガールズ(鹿児島)
準優勝/鹿児島市女子選抜(鹿児島)
第3位/エボルビア茶北FCY(熊本)
※REPLO FC熊本(2位グループ3位)

KYFA 第35回九州0-30女子サッカー大会

日程：2023年12/18
会場：島原市平成グラウンド(長崎)
結果：優勝/ENSOWA KUMAMOTO(熊本)
準優勝/サガンウェーブ(佐賀)
第3位/国見FCレディース(長崎)

(フットサル)

KYFA 第29回九州U-15フットサル選手権大会

日程：2023年11/25、26
会場：ナースパワーアリーナ(熊本市総合体育館)
結果：優勝/ヴィラノーバ水保
準優勝/セレソン都城(宮崎)

KYFA 九州ジュニアフットサル大会

日程：2023年12/2、3
会場：サンアリーナせんだい(鹿児島)
結果：優勝/口石フットボールクラブ(長崎)
準優勝/MARS福岡(福岡)
第3位/FC アンジョイ(鹿児島)、サイレコ・エスペランサ熊本

KYFA 第20回九州女子フットサル選手権大会

日程：1/13、14
会場：SAGAプラザ総合体育館(佐賀)
結果：優勝/COLAC,O FUKUOKA(福岡)
準優勝/ViVolugar Futsal Club(長崎)
※Primeiro熊本(準決勝敗退)

JFA 第29回全日本フットサル選手権九州大会

日程：2/3、4
会場：宮崎県体育館、宮崎市総合体育館
結果：優勝/Aパート)アイズ福岡(福岡)
Bパート)エスタジ佐世保フットサルクラブ(長崎)



トレメシ Vol.19

アスリートのための「トレーニング食(めし)」、レシピ

このコーナーでは、サッカープレーヤーをはじめ、アスリートのパフォーマンス向上に欠かせない栄養たっぷりのレシピを紹介します。ぜひお試しください!



春を迎え、新たなスタートを切る人も多くいますが、環境の変化などから心身のバランスを壊してしまう、いわゆる「5月病」も増える時期です。そんな時は「食べる」ことも改善方法の一つ! しっかりと栄養を補給して疲労回復や免疫カアップに努めましょう!

渡邊 まみさん/食育料理研究家、アスリートフードマイスター
熊本を拠点に大分でも料理教室の講師として活躍。また、長男は現在も社会人チームでサッカーをしているため、アスリートの食事にも精通。Instagram(mamipan358)で情報発信中。

recipe 1 フライパンで作る ローストビーフdeあか牛丼

あか牛は、タンパク質、ビタミンB1・B2、鉄分、カルシウム、ミネラルを多く含み、肝機能の改善や血圧降下の作用もあるといわれる「タウリン」の含有量も豊富なので、疲労回復などの効果が期待出来ます!



- 材料(2人分)
【ローストビーフ】
牛もも肉(ブロック).....500g
塩麹.....50g
粗挽き黒こしょう.....適量
オリーブ油.....適量
【タレ】
醤油.....大さじ2
みりん.....大さじ2
水.....大さじ2
きび砂糖.....小さじ2
んにく.....小さじ1
【トッピング(お好みで)】
温泉卵.....2個
ペペーリーフ.....適量
小ねぎ(小口切り).....適量
わさび.....適量

- 【作り方】
① 牛肉に塩麹と黒こしょうをまぶして一晩置く。
② フライパンにオリーブ油(小さじ2)を中火で熱し、①を1面につき2~3分ずつ焼いて全体に焼き色をつける。
③ 火を止めて肉を取り出し、熱いうちにアルミホイルで二重に包む。フライパンに戻し入れ、ふたをして約20分置いて余熱で蒸らす。
④ 薄切りにした肉をご飯の上に盛り、タレをかけトッピングする。
《タレの作り方》
① 鍋にすべての材料を入れ、中火で加熱しながら混ぜ合わせる。
② 煮立ったら火から下ろして粗熱をとる。

recipe 2 具だくさん! 根菜たっぷり塩麹汁

大根、里芋、れんこん、にんじん、ごぼうなどの「根菜類」は、食物繊維やミネラルが豊富で、体内の老廃物を排出するのに役立ちます。また、ビタミンCやEも多く含まれていて、血流が良くなり体が温まるので、免疫カアップにも繋がります。



- 材料(2人分)
大根.....1/3本
里芋.....3個
れんこん.....一節
にんじん.....1/2本
ごぼう.....1/3本
長ねぎ.....1/2本
油揚げ.....1/2枚
豆腐.....1/2丁
干しいたけ.....5g
水.....3カップ
塩麹.....大さじ1
ごま油.....大さじ1
うす口醤油.....小さじ1
小ねぎ.....適宜
カボス.....適宜

- 【作り方】
① 里芋は皮を剥き、ひと口大に切ったら水にさらす。ごぼうは皮を削ぎ、ささがきにしたら水にさらす。油揚げは千切りにする。
② 大根、れんこん、にんじんはいちょう切り、長ねぎは斜め切りにする。
③ 鍋にゴマ油、①・②の材料を入れて炒める。
④ 長ねぎ、水、塩麹を加え、5~10分煮る。
⑤ さらに10~15分ほど煮て、野菜が煮えたらうす口醤油を加え、塩で味を整えて完成!! お好みでねぎやカボスをのせてもOK。

「KFA NEWS」は、ここで手に入れよう!
「KFA NEWS」は、サッカー協会員以外の一般の方でも手にいれることができます。事務局にお越しいただくか、下記URLからダウンロードできます。
http://kumamoto-fa.net/about/news/
右記QRコードからもアクセスできます

編/集/後/記

海外企業の進出など、今、熊本は大きく変貌を遂げようとしています。人材の確保等、さまざまな課題が挙げられる中、県女子サッカーにおいても、一人でも多くの人にサッカーの楽しさを知ってもらい、サッカーファミリーを広げる活動を行なっているところです。ぜひ、この『KFA NEWS』や県サッカー協会のホームページを通して、多くの人に多彩な活動を知ってもらえると嬉しいです。

(女子委員会 荒木直子)

Jリーグ開幕の1993年、熊本の4~9歳の子ども達にサッカーとの出会いを提供したいとの願いで立ち上げた「熊本県キッズサッカー協議会」。30年の時を超え、延べ8万人に夢と希望、そして笑顔を与えてきました。熊本地震では、スポーツが困難を乗り越える力を持っていることを再確認。昨年度はソレッシュ熊本の全日本少年サッカー大会優勝を喜びました。夢を実現するカギは、能力ではなく、くじけない心でコツコツ努力すること。そのことに、この30年で気付いたように思えます。

(4種委員会 山川潤)